

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



下仁田小学校入学式

あなたと議会を結ぶ

確かな情報と信頼



主な
内容

第1回定例会	2~3
一般質問	4~5
委員会報告	5~7
広域圏NEWS	7
町民の声	8

平成26年度は一般会計予算 50億9,900万円でスタート

前年度比11.38%増の積極予算
厳しい財政状況の中ですが、防災・観光予算を充実

歳入

町税は9億1,765万で前年度対比2.8%の減です。地方交付税が21億500万円、国庫支出金2億1,513万円、県支出金3億6,267万円、町債6億430万円などが主な財源です。

歳出

総務費は、9億8,979万円で4億92万円の伸びです。庁舎の耐震工事を予定しています。民生費は11億3,601万円で前年度対比1.78%の伸びです。衛生費7億4,631万円で前年度対比27.4%減で厚生病院が完成したためです。土木費1億7,953万円で前年対比44.0%の伸び率です。教育費は、4億8,074万円で18.3%の増で荒船風穴駐車場整備が予定されています。

平成26年度議会費予算支出の内訳

項目	平成26年度	平成16年度	使 い 道
議員報酬	4,174万円	6,468万円	議長はじめ議員の報酬
共 済 費	1,538万円	既に退職された議員・遺族への年金支払い	
議会運営費	178万円	245万円	議会だよりをはじめ議会運営費
交 際 費	35万円	47万円	冠婚葬祭、各種会費・負担金
議員研修	114万円	250万円	各委員会の調査研修資料費
各種負担金	51万円	64万円	関係団体に対する負担金
平成26年度一般会計予算の議会費は1.2%です			

第1回 定例会

平成26年第1回定例会は、3月10日から19日までの期間、開催されました。今回の定例会は、平成26年度当初予算をはじめ、広域・教育施設の使用料条例等の改正及び平成25年度補正予算など39件が提案されいずれも原案どおり可決・承認されました。

平成26年度の主な事業等

庁舎耐震改修工事	4億3,102万円
全国ねぎサミット	1,000万円
町道下仁田～栗山線改良事業	6,138万円
不通橋改修	1億528万円
荒船風穴駐車場整備等	1億1,925万円
シャトルワゴン事業	324万円



議 案 名	審議結果
専決処分の承認を求めることについて（平成25年度下仁田町一般会計補正予算（第6号））	全会一致
専決処分の承認を求めることについて（平成25年度下仁田町一般会計補正予算（第7号））	全会一致
下仁田町固定資産評価審査委員会委員の選任について	全会一致
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について	全会一致
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合の規約変更に伴う財産処分に関する協議について	全会一致
富岡市甘楽郡障害程度区分認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について	全会一致
下仁田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町ふるさとセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町社会体育館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町グラウンド等の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町立学校屋内運動場使用料等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町屋外運動場照明施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町町営住宅管理条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町水道事業給水条例の一部を改正する条例	全会一致
下仁田町簡易水道等事業条例及び下仁田町簡易水道等事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	全会一致
町道路線の廃止について	全会一致
町道路線の変更について	全会一致
指定管理者の指定について	全会一致
平成25年度下仁田町一般会計補正予算（第8号）	全会一致
平成25年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	全会一致
平成25年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	全会一致
平成25年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第3号）	全会一致
平成25年度下仁田町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	全会一致
平成25年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致
平成25年度下仁田町水道事業会計補正予算（第2号）	全会一致
平成25年度下仁田町ガス事業会計補正予算（第5号）	全会一致
平成26年度下仁田町一般会計予算	全会一致
平成26年度下仁田町国民健康保険特別会計予算	全会一致
平成26年度下仁田町後期高齢者医療特別会計予算	全会一致
平成26年度下仁田町介護保険特別会計予算	全会一致
平成26年度下仁田町簡易水道事業特別会計予算	全会一致
平成26年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計予算	全会一致
平成26年度下仁田町水道事業会計予算	全会一致
平成26年度下仁田町ガス事業会計予算	全会一致
新聞への消費税の軽減税率適用を求める意見書（請願書）	全会一致



一般質問

町政を問う



高瀬 政信 議員

Q 幼児健診は、26年度からどのように通知するのか。

健康課長 個別に通知を郵送で出したいと思いますが、ホームページでは1年間の予定を掲載、幼児健診は年6回あるわけですから、健康時にも周知します。

Q 今この5年間で空き家対策というか、この町に住んでいただいた方は。

企画財政課長 昭和58年度の事業開始以来72件の契約件数で、年間20件から60件の問い合わせをいただいております。現在22件の登録物件のうち、19件をご利用いただいております。
Q サテライトオフィスは、どのような事業か。

企画財政課長 群馬県では、バックアップ機能誘致協議会というのを官民一体となって大澤知事の肝いりにより平成23年度から始めてございます。

サテライトオフィスというのは、企業や団体が本拠地から離れたところに設置するオフィスのことでございます。みなかみ町のほうへ誘致したということが1件、話は聞いておりますけれども、群馬県でも、9つの物件を各市町村が群馬県のほうに登録しているようなことございます。

Q ゆとり教育について成果を教育長の見解は。

教育長 特徴としては、教科内容と授業時間を削減して、児童・生徒の負担を軽減して、余った時間を教科の枠に縛られない総合的な学習の時間等を新設し、ゆとりのある教育を目指しております。ゆとり教育の成果

につきましては、文部科学省においても確定的な評価がなされておりませんので、それがよかったのか悪かったのかということについては、なかなか今判断する状況にはなっておりませんが現状でございます。

Q いじめの問題を精査する中で、その変わった時期は、どういう意見を持っていますか。

教育長 いじめが増加したということに、文部科学省のいじめに対する定義が変わりまして、今まで報告されていなかったものも報告されるという、そんな背景もありまして、ゆとり教育があったためにそういう問題が起きたかどうかということについては、なかなか一概にそれが原因ですというふうな判断ができませんのではないかなというふうには思っております。

Q 土曜日に自然に触れ合う授業は。

教育長 群馬県内の公立の小・中学校で学校教員育成の授業を行う土曜授業を実施している学校はないというふう聞いております。

現在公民館が主催をして、子ども体験学習教室を年8回、土曜日に開催しております。小学生が対象です。

教育課長 通称チャレンジキッズといっております。まして、1年間を通じて実施しております。昨年ですと、申し込みの小学生が65名いまして、延べ参加者数が256名ほどおりました。



チャレンジキッズ (石の観察会)

Q 先の豪雪災害状況と対策は。

産業振興課長 被害状況は、農業関係は、3月12日現在で農業施設被害が面積で3万3,929平米、金額では2億1,197万4,000円です。住家の屋根等の被害状況は、3月10日現在で19件の申し込みがある。除雪状況は、3月7日現在で49路線、約1,900万円の請求が上がっており最終的には3,000万円近くになると想定。農家台帳及びJA出荷者名簿等で確認をし、約950件に郵送で調査票を配布し、3月4日時点で130件の申し出がある。

総務課長 災害救助法により自衛隊、赤十字社



岩崎 正春 議員

委員会報告

総務常任委員会

3月12日に付託された
 請願1件について審査
 し、新聞への消費税軽減
 税率適用は当然で、原案
 どおり意見書を提出との
 意見があり、審査の結果、
 請願は、全会一致をもつ
 て採択しました。

Q 退職手当組合負担金の率はどうなった
 ているのか？

A 退職手当組合への負担金料率は、職員の給料の1,000分の200です。一般会計職員で、9,058万円です。

社会経済常任委員会

3月12日に付託された
 陳情1件について審査
 し、陳情「協同労働の協
 同組合法（仮称）」の速
 やかなる制定を求める意
 見書に関する陳情は審査
 の結果、継続審査としま
 した。

Q 退職手当組合へは掛
 け金を上回る支払いが
 8億と聞いたが現在は
 どうか？

A 退職手当組合への負担金支払い総計額に対して、これまでの退職者に支払われた退職金を差し引きすると、5億7,500万円ほど支払額が多くなっております。

予算決算特別委員会報告

平成26年度下仁田町一般会計予算（新年度予算）について審議をしました。

職員数を減員していることから掛け金より、支払金が増えることとなっておりますが、今後、各年ごとの退職者が少なくなり、掛け金が支払額を上回り、

利用を開始し、駐車場整備、トイレ整備等工事を発注したい。シャトルバス、シャトルワゴンの運行も計画している。風穴の現場では、6月末には若干工事が残っているようなことが考えられる。

Q ねぎサミットの開催と、組み合わせは。

町長 世界遺産とジオパーク、そしてねぎサミットと、これらを連携して進めるべく協議している。本年6月、世界遺産登録の発表後に登録記念事業等開催する方向で準備を進めている。

Q ふるさと納税の推移と今後の取り組みは。

企画財政課長 基金の積立金は、2月末での累計額803万4,275円、寄附金をいただきました人たちは現在82名で、町外者が30名、うち県外者が16名でございます。

Q 寄附金制度の生かすべき点は、寄附していた方に、ねぎサ

ると判断した場合に、要請。町では孤立集落への物資搬送と除雪3路線の4件を要求。

Q 今後の防災マニュアル作成は。

町長 防災マニュアルも町民、住民の大きなご理解をいただいた中で、今後、大幅な検討を加えて対応していきたい。



雪害の状況

Q 荒船の風穴の修復進捗状況や駐車場整備、安全対策への検証は。

教育課長 新駐車場は、早い時期に覆工板による仮設の駐車場として



この額は次第に減少していくものであります。

Q 庁用車集中管理費では、車両を2台購入するとのことだが、関連して、今回の大雪の際に破損した車両についての取り扱いの経過はどうか。

A 購入する車両は軽乗用車と軽貨物を予定しています。また大雪で破損した車両については、町村会の車両保険の適用となるため、残存価格に応じた保険は支払われず、新規購入する場合はその差額分が実質支出として発生します。

Q 庁舎耐震改修のスケジュールについて？

A 県ヒヤリング時の説明では、5月頃には交付決定がされる見込み。交付決定後に入札、3月末までの9カ月を予定している。起債が100%充当許可され

れば、交付税算入措置分を控除して、約1億円＋利息となります。



耐震が予定されている庁舎

Q 中学生国際交流の参加人数と一人当たりの費用はいくらか？

A 生徒12人と引率者3人の計15名です。基本的に予算は昨年の実績で、一人当たり経費43万3千円で計上いたしました。

Q 文化ホール運営の中でワイヤレスマイクを設置する話を聞いたが？

A 音響施設が老朽化

し、故障も発生しているので修繕を考えています。

Q 学校給食はこのまま生徒が減っているが現在の施設をどうするか。

A 平成31年度には児童、生徒、教職員合わせて330名程になります。建物を建設したときは2000食対応でした。小・中学校が1校ずつになった現在、まだ具体的には話が出ていませんが、学校の近くに施設を造ることも教育委員会等で検討していかなくてはならないと考えています。

Q 臨時福祉給付金支給事業及び子育て世帯臨時特例給付事業について。

A 臨時福祉給付金は、消費税率引き上げに伴い、市町村民税(均等割)が課税されていない方が対象で、ご自身を扶養している方が課税されている場合は対象外で、一人につき

1万円、年金受給者は5千円加算され、平成25年12月12日時点の税情報で対象者を概算し試算しました。また、子育て世帯臨時特例給付金は、消費税率引き上げに伴い、子育て世帯への影響を緩和するもので、児童一人につき1万円を支給、平成26年1月1日基準日に対象者を概算し試算をしたものです。

給付金制度についてのチラシを全戸配布することで、制度及び申請についての周知を図る予定です。あくまでも申請主義です。

Q 社会福祉協議会補助金が昨年より、減額されているが？

A 役員報酬や職員給与の一部、広報誌発行費用などを町補助金部分より減額しました。建物の維持管理費は共通事務費49万中、45万円を計上しています。社会福祉協議会が下仁田町公民館へ移転する際からの経緯であり、

小坂小跡に移転し、事業運営が落ち着くまでは現状どおりとし、補助金を減額する方向で、新社協会長のもと運営改革に取り組んでいただき始めたところであります。



旧小坂小学校

Q 有害鳥獣駆除対策事業は。

A 主なものは猿の追払い員の賃金が658万円、駆除機材等需用費が8万円、駆除にかかる保険料が14万円ととなっております。猟友会に委託する駆除費が180万円で、H25の補正でも計上しており

ますが、イノシシとシカの成獣の駆除は国庫補助金の鳥獣被害防止緊急捕獲対策交付金で112万円計上してあります。

猿の追払いの賃金は、県から半額補助を受けておりますが、残りは単費となります。

Q 有害鳥獣の講習を県で実施するというのが載っていたが、町から要請はしているのか。

A 町は、積極的に参加したいと考えます。

Q 全国ネギサミットの予算は。行程表はできているのか。

A 開催の自治体の予算を参考に、1,000万円を計上してあります。実行委員会を立ち上げて進めて行く予定です。

現在JTBに相談をもちかけており、近々に実行委員会を立ち上げる予定であります。

Q 林業施設費の三つの事業の説明を。

A まず林業作業道総合整備事業は緑化8路

線、改良14路線、開設12路線を計画しており、財源のほとんどが国県の補助金となっております。林道等維持補修事業は、林道の修繕と除雪ならびに凍結防止剤の購入を予定しております。県単林道改良事業は今年度引き続き続き、林道稲合高倉線の舗装工事として計上しており、県から50%の補助を受けて実施する予定となっております。

Q 作業道の工事を毎年実施しているがその成果は。
A 森林整備にあたり、作業道が多く開いている方が効果的と考えております。

Q 森林内の木の伐採・除去・運搬等については、作業道が無ければ作業がはかどらないと考えます。
A 認定農業者連絡協議会育成助成費補助金2万円と青年就農給付

Q 地域ぐるみ農業後継者育成対策の内容は。
A 認定農業者連絡協議会育成助成費補助金2万円と青年就農給付

金1名分150万円です。
人・農地プランに位置付けられ就農時年齢が45歳未満の新規就農者で、一定要件を満たした方に年間150万円、最長で5年間給付されます。全額国庫補助となっております。

Q 環境保全型農業直接支援対策交付金事業について、有機農業等取り組んでいる農業者への交付金詳細を。
A 有機農業等の取組農業者2名分、過去の実績により予算計上しております。

Q こんにやく手作り体験道場が直営となるが、条例上は変更は。
A 当初こんにやく手作り体験道場を作った時は直営であり、その時に条例を作っております。その後、

Q こんにやく手作り体験道場が直営となるが、条例上は変更は。
A 当初こんにやく手作り体験道場を作った時は直営であり、その時に条例を作っております。その後、



こんにやく体験道場

指定管理者として商工会に移した経緯がございますが、支障はございません。

Q 下仁田町観光館「道の駅」維持管理費は。
A 月20万円、年額240万円の利用料をもっておりますので、指定管理の協定にもとづき、町の所有部分の修繕費を130万円計上しております。外壁や通路の床板などの交換や防腐塗装などを予定しております。



道の駅

負担します。なお、軽微なものについては、その都度、会社負担で修繕してもらっています。
Q 下仁田ねぎ栽培事業において、内容を詳しく説明を。
A 23年度より下仁田ねぎのPRを目的に、馬山地区内に畑を借り農家に指導をお願いし、商工会青年部についてはボランティアで協力をお願いし直営で栽培しております。

Q 販売の売上はどうしているのか。
A 一般会計の諸収入に入金してきます。

広域圏 NEWS



堀越院長

長となりました。

◆下仁田南牧医療事務組合下仁田厚生病院使用料等条例の一部を改正する条例
全会一致で可決
(三月二十四日)

◆予算案件
◆平成26年度病院事業会計予算は全会一致で可決されました。

富岡甘楽広域圏議定会定例会
広域圏議会は、2月27日午前10時から富岡市役所で開催
平成25年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合補正予算
平成26年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合関係市町村の負担金の分割割合
第6号議案 平成26年度富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合予算
第9号議案 富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合教育委員会委員の任命
以上、9件全会一致で原案のとおり可決しました。

病院議会議決(定例会)

(三月三日) 開会
青木院長から堀越勤院

環境議会議決(定例会)
甘楽西部環境衛生施設組合議定会定例会が3月3日と25日に開催されました。
平成26年度予算は、4億2,925万円の前年対比12.4%の増額となっております。
主な予算内容は、清掃センターの補修工事等です。
監査委員には、茂木進氏が選任されました。

町民の声

下仁田町商工会 女性部

千野 光子 様

はじめに、このほどの大雪の災害では過去に例を見ない被害を多くの方が受けられ、遅々として進まぬ除雪作業などにも憤りを感じたことと思います。

この経験を教訓として、今後に生かしていきたいと考えます。今回の被害を受けた皆様には、心より深くお見舞い申し上げます。

私たち商工会女性部



は、昭和55年に設立し、現在会員数は74名です。女性の特性を生かし豊かなまちづくりの協力者として活動をしています。事業活動として、私たちは、長年、環境問題に取り組み、廃油を利用した石鹸作りをしています。この石鹸は、各イベ

ントに販売し実演を含め普及に努めています。

また、青岩公園のクリーン清掃に取り組み群馬県の「花と緑のクリーン作戦」にも協力しています。

さらに、「下仁田ジオパーク」や「富岡製糸場と絹遺産群」の一つの「荒船風穴」の世界遺産登録を見据えて、2年前、町との行政懇談会において、青岩公園のトイレ周辺の整備を町へ要望しました。お陰様で、太陽光パネルが併設され、車いすも使用できる近代的なトイレが設置され「下仁田ジオパーク」の表玄関といえる自慢の公園になりました。一方、親会が主催する産業祭や商業祭ではお手伝いや手作り旨い物出店

を行っています。

さらに、町行政への協力として、「神津牧場の花祭り」や「こんにやく夏祭り」に参加しています。また、2年前から「ねぎサミット」の前哨戦として行った「農業祭・下仁田ねぎ祭り」にも積極的に参加し、町外からお越しいただいたお客様のおもてなしに努めています。

研修会として、「荒船風穴」や「ジオパーク」研修を定期的に行い、特に、下仁田ジオパークの恵みによってできたねぎと蒟蒻をベースにした食文化研修に力を入れています。

昨年より、西南ブロック部長を仰せつかり、群馬県内の会員へも下仁田町へお越しただいておりますが、再び下仁田の地へ足を向いていただきたく、魅力のあるまちづくりが課題となるかと思えます。今年、下仁田町は、「荒船風穴」の世界遺産登録や「下仁田ジオパーク」、さらに「全国ねぎサミット」と、飛躍の年となりそうです。

私達商工会女性部としても「おもてなし」の心で町行政と連携し活動したいと思っています。

末尾に、この「議会だより」は、議会・行政の知るすべにおいて重要な役割を果たしていると思えます。今後も町民に分かり易く、一人ひとりが町行政に目を向けることを願っています。

自治功勞で表彰

去る2月20日に開催された群馬県町村議会議長会で、堀口博志議員は当選以来15年、岩崎正春議員が、当選以来10年の長年に渡り地方自治振興発展に認められ表彰を受けられました。



編集室から

3月定例議会も、全員出席の中、審議、採決をしまりました。

年度末の補正と、新年度予算を、とどこおりなく可決を致しました。役場を退職された職員さんは、4名です。永年に渡って、町のためにご尽力くださり、誠にご苦労様でした。また、新規採用の職員は2名です。仕事になれて頑張って頂きたいと思っています。議会だよりですが、皆様方に出るだけ見やすく、読んでいただける紙面作りを心掛けておりますが、お気づきの点等がございましたら、ぜひ、お知らせをお待ちしております。

広報発行特別委員会
委員長 永井正之
副委員長 千野榮治
委員 原 秀男
岩崎正春
高瀬政信
佐藤勇二